

市報

2020
No.602

1.10

ひたちなか

特集

受け継がれる伝統

2-3 磯節道場

4-5 元町みろく保存会 伝統文化の伝承者

6-7 つないでいく伝統

8 市民税・県民税の申告がはじまります

9-11 暮らしの情報

12 第68回勝田全国マラソン交通規制のお知らせ
スマイルあおぞらバス運休・一部休止のお知らせ

発行 ひたちなか市広報広聴課 ☎029(273)0111

編集 〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号





受け継がれる 伝統

地域に伝わる伝統文化
私たちの生活から、遠いものになったのは、いつの頃からでしょうか。
その灯を受け継いで傳承する人がいます
真剣な眼差しで応える子どもたちがいます
伝えていきたい
残していきたい
伝統の中に流れる、心と誇りを



磯節道場
谷井法童さん(88)

父「谷井角衛門」の意思を継ぎ、磯節道場を設立。磯節道場の運営の他、那珂湊一小・二小・三小の指導協力も行う。

伝えたい 残したい ふるさとのひびき

ふるさとに伝わる民謡を子どもたちに伝え続け45年。磯節道場は、谷井さんをはじめ6人の指導者のもと、郷土の民謡と天満宮祭礼屋台囃子(市指定無形民俗文化財)の傳承を中心に週2回活動しています。

「民謡は、郷土の歴史を伝える教科書のようなもの」と谷井さん。民謡は、次の漁にそなえて網を締める共同作業の掛け声として歌われた「網のし唄」や、大漁を祝う「茨城大漁節」など、もともと生活の中で生まれ、歌われてきたもの。庶民の情景や気持ちが歌詞や踊りの型に表現されています。技術を身に付けるだけではなく、当時の背景や人々のことを理解していくことも大切にしています。

「今は、民謡は見たり、聞いたりするものになってしまった。本来の民謡は生活の中に根付き、親が歌っているのを見よう見まねで覚えていくように、自分で歌うもの。子どもたちにはふるさとして学びながら、歌や踊りを楽しんでもらいたいです」

多くの人に、 民謡に触れる機会を

少子化や生活の変化などにより、一時は60人ほどいた道場の子どもたちも、今では幼児から高校生までを合わせても30人ほどに。伝統を受け継ぐ子どもたちは確実に減っていると言います。

民謡を歌う習慣がなくなりつつある現代では、民謡に触れる機会を作らないことにはその良さに気づいてもらえません。磯節道場を立ち上げた当初は、県内外への遠征や、テレビ出演など、発表の機会も多かったそうです。しかし今、イベント出演もテレビ放送も減り、ますます地域の民謡に触れる機会が減ってきている、と谷井さん。そんな危機感を胸に、毎年開催されている子ども伝統文化フェスティバルにも第一回から積極的に関わってきました。

「子どもたちにとって発表の機会の一つの目標。とても大切です。見に来てくれた方が民謡に触れ、興味を持つきっかけにもなります。今年、1月19日は10年目の節目。多くの人を足運ぶイベントにしていきたい。私たちが一緒に盛り上げますよ」

谷井さんに聞く 郷土の民謡

磯節

磯節は、日本三大民謡の一つと言われ、那珂湊は大洗とともに発祥の地として知られています。起源は、諸説あります。明治42年に三味線の伴奏が付けられ、お座敷唄として全国に広まりました。

網のし唄

明治時代から関東マグロの基地として名を馳せていた平磯で、マグロを獲る大目網の目延し作業に歌われていた目延し唄に、昭和31年初代谷井法童が伴奏と振り付け、曲名を網のし唄と発表した茨城の代表的な海の唄です。

茨城大漁節

磯節がお座敷唄として広まったいった同時期に、漁業のまちであった那珂湊にも大漁節が生まれました。千葉県の大漁節に和して作られたことから、茨城大漁節と呼ばれています。

三浜盆踊り

夏祭りにみんなで踊ることの多い「三浜盆踊り」。涸沼のほとり秋成新田が発祥の地と伝えられています。昭和31年初代谷井法童が唄を整え、踊りの振り付け、普及してきました。



つなげる想い 伝統の小さな守り手たち

磯節道場の練習は週2回。目線の配り方、指先まで神経の通った動きは子どもながらに見事です。さぞ厳しい練習をしているのだろうと尋ねると、「厳しいだけでは長続きしませんよ」と谷井さんは笑って答えてくれました。

「大切なのは好きという気持ち。楽しければ自然と体が覚え、もつとうまくなりたいと思います。歌詞の意味など、細かいことはわからなくても、心に残れば伝統をつないでくれると信じています」

参加者は減っていますが、その想いは確実に受け継がれています。那珂湊一小2年生の齋藤百萌さんと6年生の北村桃子さんは、「細かい動きが難しいけど、みんなで揃って踊れたときに嬉しい」「お祭りの

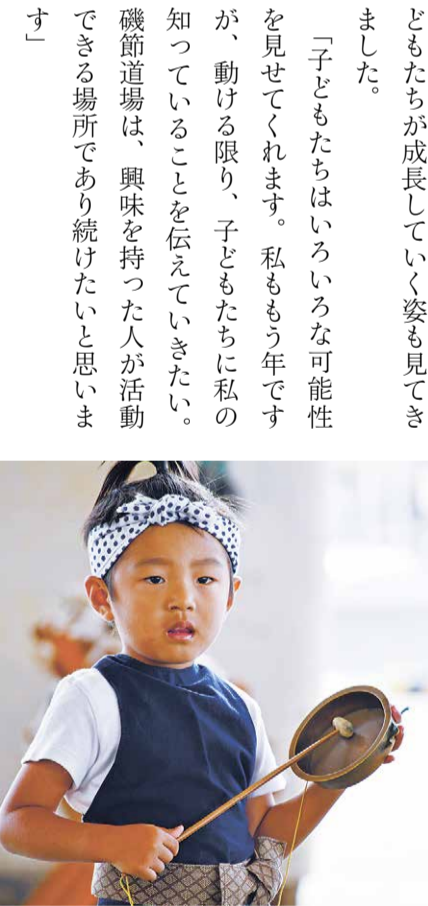
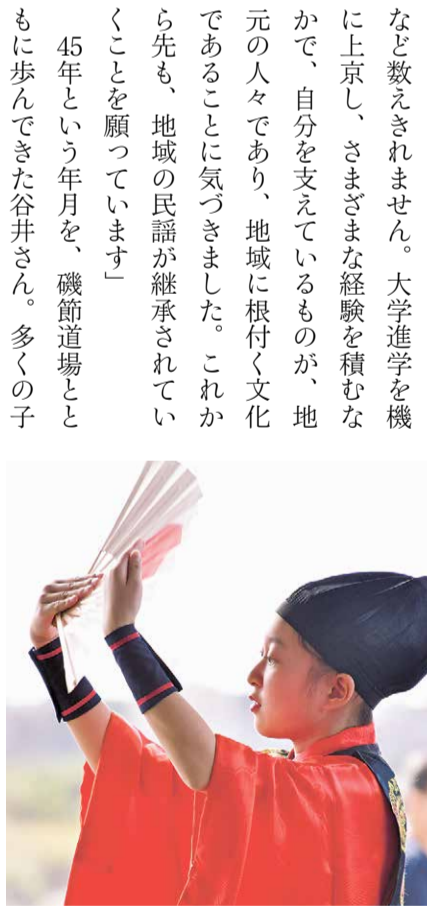


とき、屋台に乗って、太鼓や歌を披露できるのが楽しい」と話します。

那珂湊中3年生の加藤里李さんは、「参加は5歳の頃から。お兄さん、お姉さんの踊りや太鼓、なんでもこなす姿は憧れでした。今でも練習が楽しみ。踊りも太鼓も大好きで、ずっと続けていきたい」と笑います。

指導者の先生たちは「道場を卒業してから子どもを連れてきてくれる人もいるんですよ」と嬉しそうに話します。ちょうど1歳になる結乃ちゃんを連れて見学にきていた藤田由佳さん(34)は、「お祭りが好きで、小学5年生のときに磯節道場に入りました。舞台裏ではたくさんの方が支えてくれていることを知って、驚いたのを覚えています。緊張や不安はありますが、みんなと一緒に発表できたときの達成感は忘れられません。この子も磯節道場に参加させたいです」

また、大学で民謡の卒業論文を書いた渡辺千慧さん(33)は、「幅広い年代の方々との交流し活動する中で、民謡が好きになりました。稽古を通して学んだのは、民謡だけではなく、礼儀作法、団体行動のマナー



磯節道場

- 練習日 ⑤ 午後7時～9時
⑥ 午前10時～正午
- 場所 那珂湊コミュニティセンター
- 参加費 無料

【問合せ】磯節道場
☎ 263-6886





元町みろく保存会

地域の文化的遺産の象徴

「天満宮の宮元町として、伝統文化を守る。そのひとつに元町みろくがあります。伝統文化は切れたらだめ。切れ目ができると消えてしまう可能性がある」と話す関山さんは、小学1年生のころから活動に参加してきました。

元町みろく(市指定無形民俗文化財)は、江戸時代より300年以上続くみたと八朔まつり(天満宮祭礼)に供奉する風流物。白い顔の住吉さん、青い顔の春日さん、赤い顔の鹿島さんの3体のみろくがあり、ユーモラスを交えながら日本の神話の「天の岩戸」を題材とする祝い事を表現します。

「みろくは、それぞれの役目が違うんだよ。住吉さんは、始まりのお払いをする役目なので、厳かに。激しく振つちやだめ、細かく振るのはいいよ。春日さんは、お神楽を上げる、太鼓をはたいて、リズムカルに。鹿島さんは、悪魔祓いだから、激しく、大きく振る。それぞれの意味を知るほどに、奥が深い。鹿島さんで言えば4キロ、ベテランの域にならないと振り回されてしまうんです」



元町みろく保存会
関山興道さん(75)

元町みろく保存会会長のほか、みなと八朔まつり実行委員会運営委員長を兼ね、長年地元の伝統文化の活動に携る。

人のつながりを生む まちのシンボル

関山さんは、「祭りは、通りいっぺんのあいさつじゃないから、重いものを持つたり、ざあざあ雨の中を歩いたり、苦しいこともあるけど、達成感があるよね。祭りで盛り上がると、他人でも、身内みたいになっちゃうもんね」と祭り自体が地域をつくる大切な伝統と語ります。

「伝統文化であると同時に、国営ひたち海浜公園の開園や湊大橋開通の渡り初めなど、おめでたい席には、出演の声がかかります。みろくは、とにかくまちを明るくする」

祭りに限らず、地域の行事などにも積極的に出演。練習は月1回程度、祭りやイベントが近づく毎週のように練習を重ねます。練習を通じて、子どもたちとつながり、そして親とつながる。町内行事にも出ていき、まちの人たちとつながります。

「活動自体が楽しいということが大切。いつも笑って終わるもんね。そこでたくさんの方がつながって、郷土で、親がいつぱいになって、子どもがいつぱいになって。そういうのがいいんだろうね」

伝統は根付かせないと

那珂湊中3年生の高田彩妃さんは、小学3年生のときに、子ども伝統文化フェスティバルで元町みろく保存会の発表を見て、活動に加わりました。今では、太鼓のほか、習得が難しい笛も吹きこなします。

「一緒に参加するメンバーも楽しくて、この環境が好きです。自分のまちのことを知りたくなり、学校の授業で祭りのことを調べるなど、歴史も好きになりました」

関山さんは、今伝統文化の発表会が10回も続くのは他の市にはないこと、まちの誇りと話します。

「伝統文化は、過ぎ去った歴史ではありません。今、この時にまちに息づくものでなくては」





磯崎小、平磯小、平磯中指導協力
民謡民舞連合会 高橋和弥さん

民謡は地域の魂 ふるさとの心

民謡はおじいさん、おばあさんがつないできた魂のようなもの。子どもたちに伝統をつないでいくためには、学校行事や地域行事など、発表の機会や知ることのできる機会を根付かせていくことが大切。子ども伝統文化フェスティバルのような一大イベントは、一生の思い出にもなるんじゃないかな。



津田小指導協力
磯節保存会 福田佑子さん

ふるさとを 思い出す民謡

日本三大民謡の磯節を60年以上歌い続け、全国各地の行事やテレビ出演など、皇族をはじめ、多くの方へ披露してきました。民謡は、地元を離れても、ふるさとを思い出させてくれます。子どもたちには、とにかく楽しんでもらうこと。明るく、元気に学び、受け継いでいてもらいたいです。



中根小学校指導協力
和奏 橋本幸治さん

伝統×現代文化 心をひとつに叩く

昔ながらの伝統的な太鼓に、現代のリズムや魅せ方を組み合わせ進化させていきたいです。中根小では、毎年オリジナルの曲を作り、約50人が心をひとつに力一杯太鼓を叩きます。古き良きものに触れる文化が根付き、ふるさとの思い出になれば嬉しいです。



いばらき伝統文化日本舞踊こども教室実行委員会
岩井友紀さん

舞踊で学ぶ 美しき日本の心

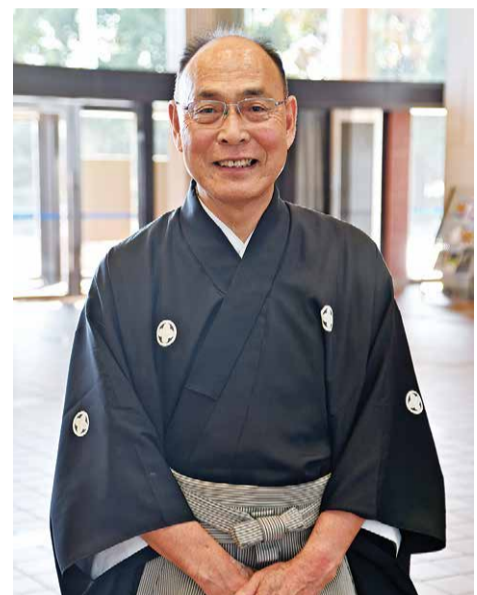
古くから大切にされてきた美しい動きやしぐさなどが表現される日本舞踊。着物の着方ももちろん、綺麗な姿勢や立ち振る舞いが身につきます。日本の伝統は今、どんどん失われてきています。日本舞踊を通して、日本人が大切にしてきた心を知ってほしいです。

伝統文化の 伝承者

地域の民謡のほか、琴や尺八、舞踊など、今に続く伝統文化の伝承に力を注ぐ人たちがいます。自身も活動しながら、学校など、市内各地で子どもたちに伝統文化の魅力を伝えています。子ども伝統文化フェスティバル参加団体指導者の想いに迫ります。

和楽器ならではの 音を楽しむ

日本の伝統楽器である箏・尺八の音色は、日本人の気質にあった、やわらかい、優雅な響きがあり、心に感動を呼び起こします。この箏・尺八を小学生・中学生に体験させることにより、次世代への継承と感性豊かな人間形成の一助にしたいと、文化庁の伝統文化親子教室を開いています。



市邦楽連盟
初見宗郷さん

もう一度見直したい 日本の伝統

日本の伝統楽器、箏、三味線に触れながら、着物の着方や日本人としての礼節を学んでもらいたいと思っています。お辞儀をしっかり身に付けた子が、清々しい挨拶で教室へ入ってくる姿は実に気持ちのよいものです。日本人が伝統文化を学ぶことの大切さを改めて感じます。



邦楽サークル“風雅”
大須賀佳緒里さん

手をかけるほど、 心に響く「音」

琴をはじめ、準備に時間がかかる伝統の和楽器。手をかけてあげないと出せない音の響きなど和楽器の良さに触れてもらいたいです。古来の曲だけではなく、現代の曲にもチャレンジし、弾けるようになったときの喜びはひとしおです。楽しみながら、琴の技法を身につけ、日本の伝統に興味をもってもらいたいです。



いずみ伝統音楽保存会
岡本千邦子さん



つないでいく
伝統

今、誇るべき郷土の伝統を継承している
 けるかが危ぶまれています。

日常であった伝統文化は、特別なもの
 になった結果、多くの娯楽の中に埋もれ
 てしまったのかも知れません。伝統文化
 を継承していくべき子どもたちも、勉強
 に習い事、ゲームや動画と興味を引くも
 のがたくさんある中で、伝統文化に触れ
 ること自体が少なくなりました。

グローバル化が進み多様な人々と交流
 することが当たり前になっていく現代
 で、私たちの根っこにあり、自分を支え
 てくれるのは、ふるさとの歴史であり、
 伝統であり、誇りではないでしょうか。

先代から受け継いできた伝統文化が、
 今、ここにあるのは、このまちを想い、
 伝承する人たちがいるからこそ。地域の
 誇りである伝統の火を消すことなく、次
 代につないでいかねばなりません。



10周年
子ども伝統文化フェスティバル

1月19日(日) 12:00開演
文化会館 入場無料

今回特集に登場した団体が集い、日頃の成果を発表します。



▲全国レベルの大会で活躍する水戸葵陵高校書道部がゲスト出演！圧巻の書道パフォーマンスをお楽しみください。今回の特集タイトル「受け継がれる伝統」も書いていただきました。

【問合せ】芸術文化振興室 ☎ 272-6301

伝統文化は日常から遠いものになってしまいましたが。しかし、触れてみると人たちの知恵や情熱、自分の中にも受け継がれる日本人として大切にしていたものに気づくことでしょうか。まずは見ること、触れること。そこから伝統の息吹を感じてほしいのです。

伝承に力を注ぐ人たちの熱意と、伝統文化の次代を担う子どもたち。観てください。

子どもたちの晴れ舞台。緊張しながらも積み重ねた修練の成果を披露する姿を。感じてください。

このまちに息づく、伝統の心を。

2月12日(水)～3月16日(月)

市民税・県民税の申告がはじまります



申告にあたってのお願い

- 事業所得や不動産所得を申告する方は、帳簿や領収書などを整理し、収支内訳書を必ず事前に作成してください。
- 医療費控除を受ける方は、あらかじめ治療を受けた人、病院・薬局ごとに領収書を整理し、医療費控除の明細書を作成してください。

■申告受付期間

2月12日(水)～3月16日(月)

■申告会場

下記の地区割受付日程表をご覧ください。

■申告が必要な方

- 1月1日現在、ひたちなか市にお住まいの方。ただし、次の①～③に該当する方は申告不要です。

- ①所得税の確定申告書を提出する方
 - ②給与所得のみで、勤務先から市役所に給与支払報告書が提出されている方
 - ③公的年金等の所得のみの方
- ※②、③に該当する方でも、医療費控除等の各種控除を受けるためには申告が必要です。

■市の会場で受付できない確定申告

- 青色申告
- 土地・建物(収用以外)や株式(特定口座以外)の譲渡所得、山林所得、先物取引の申告
- 初年度または連帯債務の住宅借入金等特別控除や住宅関連特別控除(住宅特定改修、認定住宅新築等)の申告
- 外国にお住まいの親族を扶養とする申告
- 外国税額控除の申告
- 仮想通貨に関する申告
- 雑損控除の申告(令和元年台風19号以外)など

■休日の申告受付

- 次の休日に限り申告の受付を行います。
- 日時 2月24日(月) 午前9時～午後3時
 - 申告対象者
公的年金等の所得または給与所得のみの方(営業、農業、不動産収入等のある方は除く)



■郵送でも申告書の提出ができます

市・県民税申告書を作成できる方は、必要書類を同封の上、次の宛先まで郵送してください。
〒312-8501 東石川2丁目10番1号 ひたちなか市市民税課

※確定申告書の郵送先は太田税務署です。ご注意ください。



《地区割受付日程表》

【受付時間】午前9時～午後3時

期 日	勝田会場 市役所 議事堂棟 第2～4委員会室 (東石川2-10-1)	那珂湊会場 那珂湊支所 会議室1・2 (和田町2-12-1)
2月12日(水)	笹野町、長堀町、松戸町、小砂町	海門町、和田町
13日(木)	武田、西大島、勝田本町、大成町	湊泉町、平磯遠原町
14日(金)	東石川	柳が丘
17日(月)	高場	田宮原、十三奉行
18日(火)	金上、勝倉	相金町、田中後
19日(水)	田彦	相金町、柳沢
20日(木)	津田、後台	湊中央、釈迦町、富士ノ上
21日(金)	津田、津田東	山ノ上町、牛久保
25日(火)	高野	西十三奉行、烏ヶ台
26日(水)	市毛、大平	南神敷台、北神敷台
27日(木)	足崎	磯崎町
28日(金)	足崎	磯崎町
3月2日(月)	三反田、枝川	阿字ヶ浦町
3日(火)	馬渡	阿字ヶ浦町
4日(水)	馬渡、西光地	平磯町
5日(木)	中根	平磯町
6日(金)	中根	平磯町
9日(月)	稲田	幸町、八幡町
10日(火)	佐和、小貫山	栄町、東本町、湊本町
11日(水)	長砂、外野、はしかべ	殿山町
12日(木)	東大島、東石川1～3丁目、堀口	部田野、美田多町、洞下町
13日(金)	その他の地区	その他の地区
16日(月)	その他の地区	その他の地区



申告には次の書類をご用意ください

- 本人確認書類 (①番号確認書類+②身元確認書類)
 - ①番号確認書類 マイナンバーカード、通知カード等
 - ②身元確認書類 マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等

■所得の計算に必要な書類

営業、農業、不動産業など事業を営む方	収支内訳書(必ず作成してご持参ください)、領収書
給与収入のある方	給与所得の源泉徴収票
年金収入のある方	公的年金等の源泉徴収票
その他の収入がある方	それぞれの収入や経費が明らかになる書類

■所得控除を受けるために必要な書類

社会保険料控除	国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、その他の社会保険料の領収書・証明書
生命・地震保険料控除	生命保険料、地震保険料の控除証明書
医療費控除	医療費控除の明細書(添付が必要です。必ず作成してご持参ください)、医療費通知等 ※セルフメディケーション税制を受ける場合は、上記の他に健康の維持増進や疾病の予防に関する取組を行ったことを明らかにする書類(各種検診等の領収書・結果通知表)
その他の控除(障害者控除、寄附金控除等)	各種控除の内容が明らかになる領収書・証明書

■その他

- 印鑑(認印可。ただしインク内蔵式ゴム印を除く)
- 金融機関の口座番号(申告者名義)が分かるもの(還付申告の方)

■確定申告には利用者識別番号が必要です

- 市の申告会場(勝田会場及び那珂湊会場)で受け付けた確定申告書は昨年からの電子データで作成し、税務署へ送信しています。
- 市の申告会場で申告する場合には、次のいずれかの書類をお持ちいただくようお願いします。
- 税務署から「確定申告のお知らせ」の通知が届いている方はその通知
 - 利用者識別番号を取得した際の書類
 - 昨年、市会場で確定申告した際に渡した利用者識別番号が印字されている紙
利用者識別番号を取得していない方は、当日会場で取得することができます。

申告はお早めに!!

申告期限が近づくほど会場は大変混雑し、待ち時間も長くなります。
地区割日に都合が悪い方は、混雑緩和のため、2月中の申告にご協力ください。

募集

●暮らしの講座

■シニアのためのLINEの

安全な使い方講座

日時 2月5日④、20日④ 午後1時30分～3時30分 ※同内容なので、どちらかに申し込みください。場所 ふあみりこらぼ 講師 鴨志田里子さん 対象 市内に居住、通勤、通学する方 定員 各日先着10人 費用 無料 申込み・問合せ 1月20日④午前8時30分～電話で消費生活センター☎内線3233

●こらぼDEまなぼ

■日本画を描いてみよう!

日時 2月2日④ ①午前10時30分～11時30分/②午後1時～2時 場所 ふあみりこらぼ 内容 日本画「鳥獣人物戯画」の、墨を使った簡単な模写体験 対象 小学1～中学3年生(小学1～3年生は保護者も参加) 定員 先着各20人 費用 無料 持ち物 タオル、汚れてもいい服装 申込み 1月27日④(平日午前9時～午後5時)までに直接または電話でふあみりこらぼ☎272-6301

■バレンタインのお菓子作り

日時 2月8日④ 午前9時30分～正午 場所 ふあみりこらぼ 内容 家族でチョコレートケーキとカップケーキ作りを楽しむ 講師 ホームメイド協会マイスター 竹田和代氏 定員 8家族 5歳～小学6年生と保護者や祖父母(応募者多数の場合は抽選) 費用 1家族800円 申込み 1月27日④必着で官製はがきに

①「バレンタインのお菓子作り」 ②郵便番号・住所・代表者氏名 ③参加者氏名・年齢・性別 ④電話番号を記入。結果は1月30日④までにはがきで発送。 ※小麦・卵アレルギーの方は参加できません 申込み・問合せ 生涯学習課☎272-6301

(〒312-0057 石川町11-1)

●市民活動フォーラム2020～キッズ教育でまちづくり～

日時 2月11日④⑤ 午後1時30分～4時10分 場所 ワークプラザ勝田 内容 講演「キッズのための理科教育」(講師 宮本直樹准教授)、パネルディスカッション、フリーディスカッション 対象 市民活動に関心のある方 定員 先着90人 費用 無料 託児 あり 要予約 申込み・問合せ 2月4日④までに電話で市民活動課☎内線3222、市民交流センターひたちなか・ま☎276-0101(火曜休館)

●男女共同参画講座

■若々しくささうと生きる生活術

日時 2月19日④ 午前10時～11時30分 場所 男女共同参画センター 講師 ヘルスサポート21主宰 古谷信義さん 対象 市内に居住、通勤、通学する方 定員 25人 費用 無料 託児 6カ月以上～未就学児5人(無料、2月5日④までに要予約) その他 運動しやすい服装 申込み・問合せ 男女共同参画センター☎354-0167

●経営力向上セミナー

■従業員満足度を高めるための社内クレームゼロ達成法

日時 2月6日④ 午前10時～午後4時 申込締切 1月30日④

■戦略的思考トレーニング

日時 2月19日④ 午前10時～午後4時 申込締切 2月12日④

★共通 場所 ひたちなかテクノセンター 定員 20人 費用 受講料10,890円 申込み・問合せ 同センター☎264-2200

●精神保健福祉ボランティア募集

日時 2月1日④、8日④、15日④ ※希望の方は3月中に施設実習あり 場所 地域活動支援センターふわり(柳沢2831) 対象 市内ま

たは近隣市町村在住の方で、精神保健福祉のボランティア活動に意欲のある方 定員 約10人 費用 1,000円(来所時支払い) 申込み・問合せ 同支援センターふわり☎264-1500

●ひとり親家庭等支援セミナー&個別相談会

日時 2月22日④ ①午前10時～正午 ②午後1時～3時 場所 いばらき就職支援センター(水戸市三の丸1-7-4) 内容 ①セミナー「家計管理と自分磨き」、「養育費と民事執行法改正」 ②専門家による個別相談会 費用 無料 託児 2歳以上(要予約) 申込み 2月5日④までに県母子家庭等就業・自立支援センター ☎233-2355

●小・中学校体育施設新規使用希望団体募集

市民の体力づくりとスポーツ、レクリエーションの普及・奨励のため、市内小・中学校の体育施設を開放しています。令和2年度に新規使用を希望する団体を募集します。対象 市内に住所を有する者または市内に通勤、通学する者で組織された団体。責任者は20歳以上 開放施設 市内小・中学校の体育館、運動場、武道場 使用開始 令和2年4月から ※詳しくは1月中旬頃に市HPをご覧ください。 問合せ 教育委員会総務課☎内線7305

●いばらきカレッジ

■テクノロジーの視点から考える

いばらきの未来 日時 2月1日④ 午後1時30分～4時15分 場所 茨城工業高等専門学校 内容 大学・高専の教員が、先端技術の研究内容・茨城の発展可能性を分かりやすく語ります。 ※詳しくは、茨城大学社会連携センターHPをご覧ください。 費用 無料 申込み・問合せ 茨城大学社会連携課☎228-8585

●消防団員募集中

あなたの力を待っています

消防団は、消防署と同様に消防組織法に基づき設置される消防機関です。火災現場での消火活動のほか、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。また、女性の消防団員も消防の啓発活動などで活躍しています。あなたも地域のために活動してみませんか。



新任消防団員放水訓練の様子

問合せ 生活安全課消防団担当☎270-0025

●茨城高専「ひらめきサロン」

■茨城高専における起業マインド教育の紹介と体験

ーデザイン思考のワークショップー 日時 2月7日④ 午後4時10分～6時(受付:午後3時40分～) 場所 茨城工業高等専門学校 定員 80人 費用 無料 ※詳しくは茨城高専HPをご覧ください。 申込み・問合せ 氏名、連絡先をメールまたは電話で同校研究協力・地域連携係☎271-2952、メール:kenkyo@sec.ibaraki-ct.ac.jp

●ひたちなか商工会議所

新春特別講演会

■成功する人の習慣

～チャンスをつかむ方法～

日時 2月6日④ 午後2時～3時30分 場所 ホテルクリスタルパレス 講師 脳科学者 中野信子氏 定員 300人 問合せ ひたちなか商工会議所☎273-1371

太田税務署から確定申告のお知らせ

■所得税・個人消費税・贈与税の申告受付

期間 2月17日④～3月16日④(⑤⑥を除く) 相談受付 午前8時30分～午後4時(相談開始:9時～) ※提出は午後5時まで可

場 所 太田税務署

- 申告書の作成には時間を要しますので、相談内容が複雑な場合は、午後3時頃までにお越しください。
- 確定申告会場では、ご自身でパソコンを操作し、申告書を作成していただくことを基本としております。

■休日の申告会場

日 時 2月24日④、3月1日④ 午前9時～午後4時 場 所 中央ビル(水戸市泉町2-3-2)

- 現金納付の窓口業務は行いません。
- この2日間は太田税務署での業務は行っておりません。
- 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■台風19号の影響で被害を受けた方へ

住宅や家財などに被害を受けた方は、雑損控除等の適用により、所得税等の全部または一部が軽減される場合があります。

○控除の対象

- ・住宅、家財、自家用車などの生活に必要な財産の損害額
- ・住宅の取り壊し費用など、災害に関してやむを得ず支出した費用(災害関連支出)

※保険金等で補てんされる金額は、雑損控除の金額の計算上、差し引かれます。

○控除額の計算に必要な書類

- ①被害を受けた資産、取得時期、取得価額の分かる建物の請負契約書等(被害を受けた家屋の取得価額が分からない場合は、面積が分かる登記事項証明書等)
- ②被害を受けた資産の取壊し費用、除去費用、修繕費用などの分かる請求書、領収書等
- ③被害を受けたことにより受ける保険金の支払通知書等
- ④り災証明書(交付を受けている場合)

詳しくは、国税庁HPからリーフレット等をご覧ください。

■国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」が便利です!

確定申告会場に出向かなくても、自宅のパソコン・タブレット・スマートフォンから24時間いつでも申告書を作成できます。作成した申告書は、e-Taxで送信(ID・パスワードを入力して送信又はマイナンバーカードを使って送信)、印刷して郵送のいずれかにより提出できます。

※ID・パスワードはお近くの税務署で発行を受けられますので、取得されていない方は、お早めに取得してください(職員と対面による本人確認が必要です)。

【問合せ】太田税務署☎0294-72-2171(自動音声)

案内

●ひとり親家庭等のための
児童扶養手当を支給します

受給対象 次のいずれかにあてはまる「児童」(18歳に到達して最初の3月31日までの子ども)を保護者として養育している父、母、または養育者。①父母が婚姻(内縁関係を含む)を解消した児童 ②父または母が死亡した児童 ③父または母が一定の障害にある児童 ※その他受給できる要件があるほか、公的年金等を受給している方は支給に制限がありますのでご相談ください。

支給額 手当の受給には所得の制限があり、受給者本人、または同居の親族の方の所得によって、手当の一部または全部が支給停止になることがあります。

■月額(平成31年4月1日現在)

全部支給 (最高額)	一部支給
42,910円	10,120円～42,900円

※対象児童2人目は最高で10,140円、対象児童3人目以降は最高で1人6,080円加算されますが、いずれも所得に応じて支給額が決定されます。 **申請・問合せ** 児童福祉課☎内線7224、那珂湊支所保険福祉担当☎内線271

●環境シンポジウム2020

環境保全活動の様子を発表します。
日時 2月8日④ 午後1時～ **場所** 市文化会館 **内容** ポスターコンクール表彰式、活動事例発表(東石川小、津田小、阿字ヶ浦小、勝田三中、阿字ヶ浦中、(株)小松製作所茨城工場) **講師** 茨城大学教授 原口弥生氏、アトラクション **費用** 無料 **問合せ** 環境保全課☎内線3312、3

●都市計画変更案に係る縦覧のお知らせ

都市計画の変更を行うため、都市計画の案の縦覧を行います。意見のある方は、縦覧期間満了の日まで

に、市に対し意見書を提出することができます。

縦覧期間 1月16日④～29日④(⑤⑥を除く) **内容** ▼佐和駅東地区用途地域の変更、準防火地域の変更、地区計画の変更 ▼市勝田清掃センター ごみ焼却場(一般廃棄物処理施設)の変更 **縦覧場所・問合せ** 都市計画課☎内線1361、2

●被災住宅復旧緊急支援事業補助金を交付します

台風15号により被災した住宅の復旧工事を行う方に対して、補助金を交付します。

対象者 次の要件を全て満たす被災者またはその親族 ①台風による災害発生時に住宅を所有し、かつ住宅に居住していたこと ②災証明書等の判定結果が、半壊または一部損壊であること ③自らの資力で復旧工事を行うことが困難であること **対象工事** ○耐震性の向上等に資する屋根、外壁等の復旧工事およびこれに付帯する工事 ○日常生活に最低限必要な復旧工事 **補助額** 補助対象に要する工事費の5分の1の額(上限50万円) **その他** 申請書等は住宅課窓口、または市HPからもダウンロードできます。詳しくは、問い合わせください。
問合せ 住宅課☎6212、3

●こらぼ de あそび

日時 2月2日④ 午前10時～午後2時 **場所** ふあみりこらぼ **内容** かるたあそびや節分の豆まき体験、工作コーナーや消防車両展示など色々なイベントブースに参加してスタンプを集めてみよう。 **問合せ** 生涯学習課☎272-6301

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施します

対象者には、1月上旬に調査用紙を郵送しますのでご協力をお願いします。
対象 12月1日現在65歳以上の方(要介護1～5の方を除く)の中か

ら5,000人 **内容** 主に生活機能面と社会参加の状況などから、地域で生活する高齢者の生活状況や介護予防の状況、生活支援のニーズなどを把握できるような設問です。 **回答期限** 1月27日④ **問合せ** 高齢福祉課☎内線7231～4

●2020年農林業センサスを実施します

今後の農林業政策に役立てるため、5年ごとに実施される重要な調査です。2月1日現在で全国一斉に実施しますので、1月中旬から調査員が訪問して、調査票への記入等をお願いします。記入された事項は、統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いします。 **問合せ** 企画調整課統計係☎内線6191

●障害者就職面接会

日時 2月14日④ 午後1時～3時30分(受付:午後0時30分～) **場所** ホテルレイクビュー水戸 **問合せ** ハローワーク水戸☎231-6223

●水道管の凍結にご注意

気温が氷点下になると、防寒対策が不十分な水道管は凍結することがあります。凍結すると水の出が悪くなり、場合によっては破裂することもあります。特に、家の北側や風当たりの強いところ、屋外でむき出しになっている水道管は凍結しやすいため注意しましょう。 **問合せ** 水道事業所業務課☎内線22、23

●那珂湊支所展示室企画展
第2回楽しいひな祭り

市民の皆様からいただいた雛人形を飾り、ひな祭りをお祝います。
日時 2月8日④～3月3日④ 午前9時～午後5時 **費用** 無料
※ひな人形の受入れはいたしません。
問合せ 文化財室☎内線7307

●文化財を火災から守ろう

1月26日は文化財防火デー
昭和24年1月26日、世界最古の

木造建築であった法隆寺金堂が炎上し、堂内の貴重な仏教壁画(7世紀末ごろ)の大半が焼損する事件が起きました。これをきっかけに、このような悲劇が再び繰り返されないことを願って、昭和30年からは、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が展開されています。地域の文化財の保護にご理解とご協力をお願いいたします。 **問合せ** 文化財室☎内線7307

●プレミアム商品券のご利用はお早め

プレミアム商品券の有効期限は1月31日④です。まだお手元に商品券がある方は、お早めにご利用ください。有効期限を過ぎたものは利用できませんのでご注意ください。
問合せ 商工振興課プレミアム付商品券担当☎内線6171～4

●事業主の皆様へ

時間単位の年次有給休暇を
通院や、子供の学校行事への参加、家族の介護など、労働者の事情に応じて、柔軟に休暇を取得できるよう時間単位の年次有給休暇を導入しましょう。年次有給休暇は原則1日単位ですが、労使協定の締結等により、年5日の範囲で時間単位での取得が可能となります。 **問合せ** 水戸労働基準監督署☎226-2237

●茨城県特定最低賃金が
改正されました

12月31日から特定の産業に従事する労働者と使用者に適用されます。

特定最低賃金名	時間額
鉄鋼業	943円
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	905円
理化学機械器具、医療用機械器具、光学機械器具、電気機械器具、情報通信機械器具など	901円
各種商品小売業	871円

※茨城県最低賃金は849円に改定(10月1日より)。

問合せ 県労働局賃金室☎224-6216

20歳になったら国民年金

国民年金は、老後や万一の際に備え、現役世代みんなで支えあう制度です。日本国内に居住する20歳以上60歳未満の全ての方に、国民年金への加入義務があります。20歳になった下記の対象の方には、日本年金機構より国民年金加入のお知らせ、年金手帳、納付書等が送付されます。

対象 20歳の誕生日の前日時点で、厚生年金保険や共済組合に加入していない方(自営業・農業・漁業に従事する人、学生等)

保険料 月額16,410円(令和元年度)

納付場所 金融機関、郵便局、コンビニエンスストア

お得な納付方法

保険料を早めに納めること(前納)により、保険料が割引されます。納付書による現金納付以外にも、口座振替やクレジットカード納付を利用することで、よりお得で便利な納付が可能です。

免除・猶予・学生納付特例制度

国民年金保険料を未納のままにすると、将来の老齢年金や万一の際の障害基礎年金、遺族基礎年金等を受け取ることができなくなる場合があります。保険料の納付が困難な場合は、早めに免除・猶予・学生納付特例(学生の場合)の申請を行ってください。詳しくは問い合わせください。

【申請・問合せ】 国保年金課☎内線1185、6 那珂湊支所保険福祉担当☎内線275 水戸北年金事務所☎231-2283

難病患者等見舞金を支給します

難病等を患っている方に、申請により年額20,000円の見舞金を支給します。令和元年度の申請受付を行っておりますので、お早めに申請してください。

受付期間	3月31日④まで(⑤⑥⑦を除く)
受付時間	午前8時30分～午後5時30分
支給対象者	令和元年10月1日現在、次の①～③全てにあてはまる方 ①市の住民基本台帳に記録されている ②県が発行する下記の受給者証のいずれかの交付を受けている ○指定難病特定医療費受給者証または一般特定疾患医療受給者証 ○小児慢性特定疾病医療受給者証 ○先天性血液凝固因子障害等医療受給者証 ③今年度、他市町村において同様の見舞金等の支給を受けていない。
申請に必要なもの	①申請書(窓口または市ホームページに用意) ②上記②の受給者証原本または写し ③印鑑 ④申請者名義の金融機関口座番号がわかるもの(申請者名義の口座がない場合は窓口にて現金払い) ⑤申請者が保護者の場合は身分を証明できるもの(運転免許証など)
受付窓口	障害福祉課、那珂湊支所保険福祉担当窓口

【問合せ】障害福祉課☎内線7211～4

保健
健康推進課
(ヘルス・ケア・センター)
☎276-5222

●各種保健相談

■母子保健相談

	ヘルス・ケア・センター ※乳児は予約不要	那珂湊保健相談センター ※要予約
日程	2/12(㊦) 2/20(㊦)*	2/4(㊦)*
受付時間	9:30~10:15	14:00~14:30

内容 身体計測、保健相談、栄養相談
対象 生後3カ月～1歳未満
持ち物 母子健康手帳、乳児はフェイスタオル その他 *は幼児も可(要予約)、予約はヘルス・ケア・センターで受付

■助産師によるおっぱい相談

日程 2月12日(㊦)、20日(㊦) 受付時間 午前9時30分～10時30分
※要予約 場所 ヘルス・ケア・センター 内容 母乳相談 持ち物 母子健康手帳、タオル 申込み 1月29日(㊦) 午前9時～受付

■離乳食教室

日程 2月5日(㊦) 受付時間 午前9時45分～10時 ※要予約
場所 ヘルス・ケア・センター 内容 管理栄養士による離乳食作りのデモンストレーション・試食(保護者のみ)、希望者は栄養相談と保健相談 対象 4～6カ月の乳児がいる保護者 持ち物 母子健康手帳、赤ちゃん同伴の場合バスタオル

■乳幼児歯つばい相談

日程 2月19日(㊦) 受付時間 午前9時30分～10時30分 ※要予約
場所 ヘルス・ケア・センター 内容 個別での歯みがき指導、相談、希望者は栄養相談 対象 5歳までの乳幼児と保護者 持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、フェイスタオル

■心の健康相談

日程 2月18日(㊦) 受付時間 午後1時30分～3時30分 ※要予約
場所 ヘルス・ケア・センター 対象 ひきこもりや気分が落ち込む

など、心に悩みを持ち、医師の診断を受けていない本人と家族 相談員 精神保健福祉士

■健康相談・栄養相談・歯科相談

日程 2月12日(㊦) 受付時間 午後1時30分～2時30分 ※要予約
場所 ヘルス・ケア・センター 対象 血糖値・コレステロール値・肥満等生活習慣病や口腔衛生、妊婦・乳幼児の栄養について相談したい方 持ち物 歯ブラシ・コップ・手鏡(歯科相談希望者のみ)、自宅の味噌汁50cc程度(希望者に塩分濃度を測定)

●市三師会主催の市民健康講座
口は禍の元～お口の病気と全身の病気との関係～

日時 2月2日(㊦) 午前10時～正午(開場9時30分) 場所 ヘルス・ケア・センター 講師 石岡第一病院口腔外科部長 萩原敏之先生 費用 無料 定員 80人 問合せ かわしま歯科医院 ☎276-8282

コミュニティセンター

●田彦コミセン ☎274-5222

■ひまわりクラブ(ジャズダンス)
日時 ▼火曜日 午後3時30分～
▼金曜日 午後4時30分～ ※活動日等は月によって異なります。
対象 4歳(幼稚園年少)～12歳(小学校6年生) 費用 2,000円/月

●大島コミセン ☎274-1226

■沙羅樹(茶道)
日時 第2・4月曜日 午前9時～正午 費用 1,500円/月 菓子代込み 定員 若干名

●那珂湊コミセン ☎263-7266

■那珂湊リトミック(親子リトミック)
日時 水曜日(月2回) 午前10時～正午 ※見学会を2月12日(㊦)に実施します。
費用 1,500円/月 定員 2歳児15人、3歳児20人

図書館

●3館共通

■2月休館日 3日(㊦)、10日(㊦)、17日(㊦)、25日(㊦)、27日(㊦) ※那珂湊図書館は、増築・改修工事のため、12月29日(㊦)から長期休館しています。開館時期は決まり次第お知らせします。

●中央図書館 ☎273-2247

■かつたおはなしの会
日時 毎週水曜日 午後3時30分～
場所 おはなしのへや
対象 幼児、小学生

■そのおはなしのかい

日時 2月1日(㊦) 午前10時20分～
場所 ふあみりこ
対象 幼児

■さくらんぼ(おはなしの会)

日時 2月1日(㊦) 午前11時～
場所 子どもふれあい館
対象 幼児、小学生

■手作り絵本教室

自分が考えたストーリーをもとに、世界で一つだけの絵本を作成します。 日時 2月2日(㊦)、16日(㊦)、23日(㊦) ※全3回 午前10時～正午 場所 視聴覚室 講師 桑島純子氏(大洗町おはなしの会「松ぼっくり」) 対象 小学1～6年生(3年生以下は保護者同伴) 定員 先着10人 ※3日間参加できる方 費用 無料 持ち物 エプロン、はさみ、のり、30cm定規、筆記用具、絵本の表紙の紙 その他 1回目までに絵本にしたいおはなしを考えてきてください。 申込み 1月10日(㊦)午前9時～ 電話または直接中央図書館へ

●那珂湊図書館 ☎263-5499

■おはなしのドア
日時 1月25日(㊦) 午前11時～
場所 那珂湊コミュニティセンター和室
内容 えほん「おしょうがつのかみさま」ほか
対象 幼児、小学生

■那珂湊図書館特別行事

冬のとくべつおはなし会

ひたちなか海浜鉄道&那珂湊図書館 コラボ企画 よみきかせ列車「3710 としょかん号」

日時 2月11日(㊦)・(㊦) 午前10時30分～11時30分 場所 ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅構内 留置車両内 対象 幼児・小学生および保護者 定員 先着25組 内容 車両の中でおはなし会を開催し、運転席の乗車体験もあります。 申込み 1月10日(㊦) 午前9時～電話で

●佐野図書館 ☎270-3811

■おひざでできおはなしかい

日時 1月21日(㊦) 午前11時～
場所 おはなしのへや
内容 あかちゃん向けのおはなしかい
対象 0～2歳児の親子

■こどもえいがかい

日時 2月1日(㊦) 午前11時～/午後2時30分～ 場所 視聴覚室
内容 アニメ「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 ～天の川の段・ブラックホールの段～」(50分)
対象 幼児、小学生

■おひざでできおはなしかい

日時 2月4日(㊦) 午前11時～
場所 おはなしのへや
内容 あかちゃん向けのおはなしかい
対象 0～2歳児の親子

●祝日のごみ収集日変更

■資源回収(建国記念の日)

第2、4火曜日地区

2月11日(㊦)⇒15日(㊦)

問合せ 廃棄物対策課

☎内線 3324～6

1月の納期限



- 市・県民税4期
- 国民健康保険税7期
- 後期高齢者医療保険料7期
- 介護保険料7期

磯崎地区、勝田二中学区のご高齢の方へ

社会福祉法人が
買い物を支援します



社会福祉法人の「いきり苑」、「北勝園」が買い物でお困りの高齢者を支援します。コースの詳細等は各施設に問い合わせの上、ぜひご利用ください。

■いきり苑「いきり号」

毎週2回運行。地域と連携して買い物をきめ細かにサポート!

- 運行日 毎週火・金曜日
- 対象 磯崎地区在住の要介護認定を受けていない65歳以上で、車を所有せず、自身で車の乗降ができる方
- コース 磯崎地区内の各停留所⇄近隣のスーパーマーケット(買い物:約30分)

【申込み・問合せ】いきり苑 ☎264-2880

■北勝園「ちょこっとバス」

東西2コースのバスでちょこっとお買い物!

- 運行日 第2・4木曜日
- 対象 勝田二中学区在住の65歳以上で、自身で車の乗降ができる方
- コース 各停留所 ⇄ 近隣のスーパーマーケット(買い物:約50分)
 - 西コース/津田・津田東・市毛地内(国道6号線の西側)
 - 東コース/市毛・堀口・武田地内等(国道6号線の東側)

【問合せ】北勝園 ☎272-1178

家前で見て・買って・注文できる
移動スーパー「とくし丸」

(株)セイブは、買物困難者支援事業として、移動スーパー「とくし丸」を運行しています。

「近くにスーパーが無い」「バスや電車などの移動手段が無い」「免許返納を考えているが、車でスーパーに行けなくなるのが心配」、そんな声にお応えします。詳しくは、問い合わせください。

※高齢者の見守り活動も行います

【問合せ】(株)セイブ本部 ☎248-1211

★各事業の問合せは高齢福祉課 ☎内線 7231、4でも受付しています。



お惣菜・肉・魚・野菜・日用品など約300品目をそろえて、毎週2回、自宅の前までお伺いします。

第68回勝田全国マラソン 1月26日(日)開催 交通規制のお知らせ

全国からマラソンの部に13,981人、10kmの部に6,223人、合わせて20,204人のランナーが集います。大会開催に伴い、市内各所で交通規制を実施します。皆さまのご協力をお願いします。

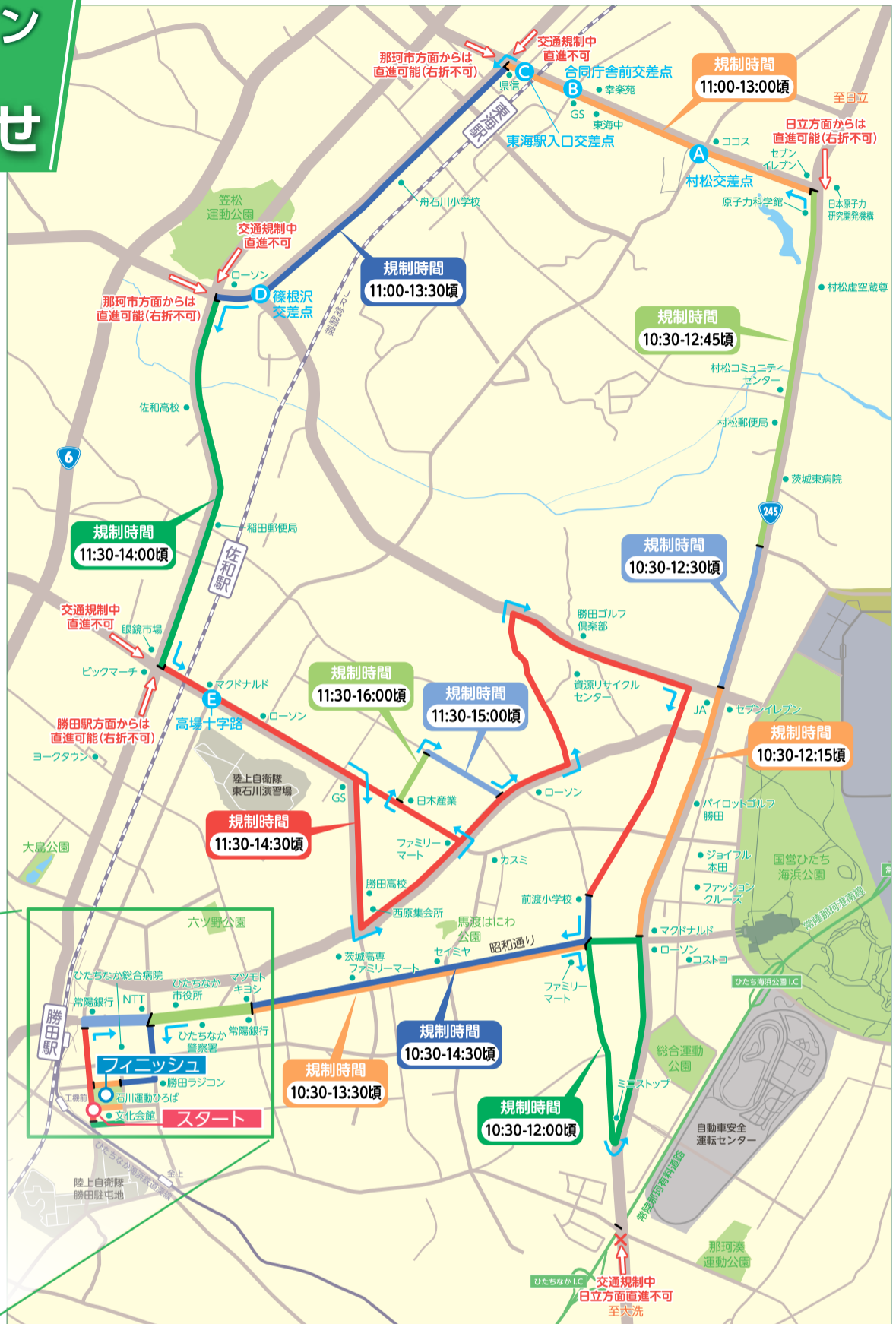
- スタート時間**
- マラソンの部 男子・女子 10:30
 - 10kmの部 男子 11:10 女子 11:40

- 注意点**
- ひたちなか総合病院と休日夜間診療所へは、11:10前は①、11:10～11:50は現地係員が指示、11:50以降は②から進入してください。
 - A～Eの交差点は、レース状況を見ながら、車両を通過させることがあります。
 - 交通規制により、通行できない道路がありますので、現地係員の誘導に従って通行してください。大会当日の競技状況により、規制時間が変更となる場合があります。
 - ★交通規制の詳細は、1月19日(日)に新聞折込するチラシ、または勝田全国マラソンHPをご確認ください。

I B S 茨城放送で勝田マラソンを実況
スタートやフィニッシュ、沿道でのランナーの様子を放送します。

- 【AM】水戸局 1197kHz
土浦・県西局 1458kHz
- 【FM】水戸局 94.6MHz
守谷・日立局 88.1MHz

【問合せ】勝田全国マラソン大会事務局
☎ 272-8405



1月26日(日)
勝田全国マラソン大会交通規制に伴う
**スマイルあおぞらバスの
運休・一部休止のお知らせ**

下記の時間帯の便は運休となります。

勝田中央コース	9:50～14:58
勝田南コース	10:30～14:45
佐和コース	11:00～14:19

上記コース以外でも、停留所が一部休止となりますので、市HP等で事前にご確認ください。

【問合せ】企画調整課 ☎内線1312

【大会当日の問合せ】

- 佐和コース、田彦・金上コース
問 株さくら交通 ☎273-6321
- 勝田北コース、勝田中央コース、勝田南コース
問 茨城交通株勝田営業所 ☎272-7311

イベントカレンダー 1月11日～2月10日

1月12日	市消防出初式 9:30～11:30 新光町46番多目的広場(総合運動公園北側)
	成人の集い 13:00～14:00 文化会館
18日	ほしいも品評会 ～19日 10:00～17:00 ファッションクルーズ1階メインホール
	サウンドシップ新春フェスタ2020 10:00～16:00 文化会館
	ドーナイトマーケット 16:00～ 那珂湊中心商店街(県信濃支店前)
19日	子ども伝統文化フェスティバル 12:00～ 文化会館
25日	●市報発行日
	勝田全国マラソン大会前日祭
26日	勝田全国マラソン
2月1日	磯節全国大会 ～2日 9:30～(開場9:00)市文化会館 ※入場無料
10月	毎月10日は魚を食べよう ●魚食普及推進の日 ●市報発行日

第68回勝田全国マラソン大会前日祭
1月25日(土) 市文化会館 入場無料

■パスタフェス 10:30～15:30

- 地元食材を使ったパスタやポストン名物 クラムチャウダーの販売
- サウンドシップによるミニライブ

■ステージイベント 12:00～15:00

- オープニングパフォーマンス
- スペシャルトーク
ゲスト:清水宏保氏 (長野オリンピックスピードスケート金メダリスト)
- 清心保育園園児の和太鼓演奏
- D-forによるダンスパフォーマンス
- イカルス渡辺氏によるライブコンサート

※どなたでも入場できます

【問合せ】ひたちなか商工会議所 ☎273-1371

再生紙と大豆油インキを使用しています。